

3月18日付で厚生労働省から 「地域がん診療連携拠点病院」に指定されました

地域がん診療連携 拠点病院とは

現在増えている「がん」と診断されたかたや家族に対して、地域の医療機関などと連携して総合的（全人的）に対応するための診療拠点として認可された病院のことを示します。

◆指定の要件

- ▼ 外科治療、化学療法、放射線治療のほかに緩和ケアを積極的に提供
 - ▼ がん治療に関わる専門的スタッフ（医師、看護師、薬剤師、放射線技師、細胞診検査技師など）を擁している
 - ▼ 病診連携・病病連携の体制を整備
 - ▼ がんに関する情報の発信や相談体制（がん相談支援センター、セカンドオピニオンの提供など）がある
 - ▼ がん医療に関わる医師などに対する緩和ケア研修会が開催されている
 - ▼ がん登録を行っているなど
- 当院はこれらの要件を十分満たし、がん医療の質を高めるためにさらなる努力をしています。

外科治療

当院での手術は、外科、脳神経外科、泌尿器科、整形外科、皮膚科などで行っています。

- ◆ 手術を行っているがんの種類
- ▼ 胃がん ▼ 大腸がん ▼ 肝胆膵がん ▼ 甲状腺がん ▼ 乳がん ▼ 腎がん ▼ 腎盂・尿管がん ▼ 膀胱がん ▼ 前立腺がん ▼ 精巣がん ▼ 皮膚がん ▼ 副腎腫瘍
- ▼ 原発性骨軟部腫瘍 ▼ 脳腫瘍 ▼ GI ST（消化管間質腫瘍）など

化学療法

当院の抗がん剤治療は、主に外来の化学療法センターで行いますが、病状に応じて入院治療も行います。抗がん剤治療を受けるかたが、安全に、安心して治療を受けられるように、医師、専従の看護師が治療にあたり、専従の薬剤師が無菌室で薬剤を調剤し、抗がん剤に関する説明も行います。



無菌室で薬剤を調剤

緩和ケア

緩和ケアとは、がんなどの生命を脅かす疾患と診断されたかたや家族に対し、自分らしく楽に生きるためさまざまな支援を行う理念のことです。

当院では、がん医療を提供するすべての部門でこの理念に沿って、治療やケアを行っています。

◆緩和ケアチーム

緩和ケアの提供にあたっては院内のさまざまな職種（医師・看護師・薬剤師・リハビリテーション科技師・臨床心理士・栄養士・ケースワーカーなど）がチームを組んで対応します。

◆がん総合診療部門

総合診療科ががん総合診療部門が入院治療、外来治療（緩和ケア）を行っています。また、在宅医療（在宅ホスピスケア）を行っており、がんの進行に伴う痛みなどの苦痛や不安、悩みが強い場合、できれば入院しないで自宅で療養を希望している場合などに対応しています。

放射線治療

放射線治療は日本でも数少ないトモセラピーというIMRT専用治療装置を導入し、腫瘍以外の正常組織への影響（副作用）が少ない治療法を行っています。



日本でも数少ないトモセラピー

このトモセラピーで行う放射線治療の主流となるもので、がんの形、部位、大きさに合わせて照射量や放射線強度を変化させることで、腫瘍に集中的に放射線を照射するものです。

▼ 脳腫瘍 ▼ 頭頸部がん ▼ 肺がん ▼ 前立腺がん ▼ 婦人科がんなどのほか、深い部位にあるがんや複雑な形のがんに特に有用です。

今後、高齢者や合併症のあるかたのがんが特に増えてきますので、体に負担の少ない治療法として利用する機会が増えていくものと思います。

がん相談支援センター

がんについて患者や家族などさまざまな疑問・悩み・苦痛・不安などを少しでも解消できるようお手伝いするための無料の相談窓口を設置し、専属の職員が対応しています。

◆相談時間

- ▼ 毎週月・水・木曜日、午前9時～午後3時30分
 - ▼ 毎週火・金曜日、午前9時～正午
- がん相談支援センター（別館1階）
☎ 5121（内線3145・2060）

受診する場合 予約をお願いします

当院の外来診療は具合の悪いかたを除き、原則的に時間予約制となっています。

◆予約の申し込み時間（平日のみ）

- ▼ 予約センター窓口
午前9時～午後4時
- ▼ お電話での申し込み
午後1時～午後4時



予約センターは、本館1階総合受付6番窓口です

※ 午前中は予約センターが込み合うため、電話対応はいたしません。

※ 小児科のみ当日の予約ができます。予約の受け付け（電話可）は、午前8時30分からとなります。

◆紹介状を持っているかた

紹介状を持っているかたは、地域医療連携室に日時の予約をお願いします。

■地域医療連携室窓口

- 午前8時30分～午後4時
- ☎ 5869

◆具合の悪いかた

具合が悪く、予約なしで直接病院に来たかたは、「総合案内」窓口へ声を掛けてください。担当する看護師が症状を聞き、対応します。

休診のお知らせ

産婦人科は医師の退職に伴い5月より休診しています。

問 予約センター ☎ 5796

循環器内科

心臓カテーテル部門の診療開始

これまでの状況

当院では急性心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患、重度うっ血性心不全などには循環器内科医不足のため緊急対応ができず、八戸市立市民病院や青森県立中央病院、青森市民病院などに救急搬送せざるを得ませんでした。

今後の対応

それを改善するため当院では平成23年4月1日より循環器内科常勤医を3人増員し、緊急対応ができる体制を整えました。

特に急性心筋梗塞や不安定狭心症に対しての緊急心臓カテーテル検査、それに伴う緊急経皮的冠動脈形成術を24時間体制で施行していきます。

また、徐脈性不整脈の患者さんに対しての恒久的ペースメーカー植込術を施行するほか、労作性狭心症が疑われる患者さんに対しては外来での検査後に、待機入院をしていただき、心臓カテーテル検査や、必要に応じて待機の経皮的冠動脈形成術を施行していきます。

心臓カテーテルの治療例

◆冠動脈の治療

心臓内にカテーテルという細い管（1から2mm程度）を動脈の中に進めていき、狭窄（血管内の狭い所）にステント（金属でできた網目の筒状のもの）を入れて血管を広げる治療



一部細い血管があります

手術前



血管の中にステントを入れます

心カテ治療中



血管が広がりました

心カテ治療後



専属の職員が無料で対応します
気軽にご相談ください！